

平成29年度第5回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

日時 平成29年12月26日(水) 10時から11時半

場所 801会議室

出席者 田中委員長、浦野副委員長、石原委員、志波委員、佐野委員、多田委員、野崎委員、本川委員、大久保委員、内海委員、内田委員、加藤委員、小林委員、伏見委員、梶野委員、富沢コーディネーター、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター、伊野コーディネーター、小堀係長、吉楽、

欠席者 永井委員、内田委員、菊池委員、西村委員

議事

【事務局】公民館長が11月で異動となり、新たに西村館長が委員となった。

(1) 各小学校区の事業の進捗状況等について報告(コーディネーター)

9校全て、おおむね順調に推移している。

【二小】学童児童の参加について、おやつを食べに学童に戻っていいと理解した児童が、放課後子ども教室に徐々に参加し出している。

【三小】11月末に嘔吐した児童がいた。今後バケツ等の用具、マニュアル、事前研修をする等徹底したが、放課後子ども教室の中で、100人位の児童を避難させるのは難しい。

【四小】コーディネーター兼推進委員長の代わりを探しているが難しい。来年1年間で見つけられなければ相談したい。

【緑小】11月は人数の多い教室を2部制で開催したが、次回は日程を分けて開催予定。活け花教室は新年度から文化庁の伝統文化親子教室に申請予定。

【南小】推進委員会でインフルエンザ、嘔吐対策をした。

【副委員長】本町小の学童保育の参加人数は。

【コーディネーター】放課後子ども教室は全15回で38名。1回2.9名の参加。放課後図書室は学童参加なし。レッツエンジョイイングリッシュは学童児童を1学期に振り分けたので、2学期は1名のみです。

【外部委員】学童がどの程度参加しているのか。どのように声掛けしているのか。

【コーディネーター】二小では、放課後子ども教室の通知は全校配布しており、予定表は学童保育所に届けている。学童に水曜日の予定があるときは参加しない。直接放課後子ども教室に来た後に、おやつに間に合うように学童に帰る児童もいるが、徹底していない。学童を休まないと放課後子ども教室に参加できない、という理解の保護者もいる。

【コーディネーター】三小は、配布した進捗表のとおり、5, 185人中3, 260人が学童の参加人数で、校庭開放がほとんどです。

【コーディネーター】四小では、校庭遊びのときに、学童の活動として、指導員が児童を連れてきて一緒に遊んでいる。室内教室は学童児童は学童を休んで個人的に参加している。イベント時は学童の指導員に事前相談して、年1回全員参加している。

【コーディネーター】前原小は、27年度、28年度、学童児童と一般の児童はほぼ半々で参加している。前原小は校庭遊びがメインで、クラフト教室は学童の予定と調整している。

【コーディネーター】緑小は、小学校で全児童にチラシ配布している。学童と児童館に月初めにチラシを届け、内容説明をしている。申込制と全員参加制の教室があるが、人数が多いので名簿を作り、学童に持って行っている。

【コーディネーター】南小は、お知らせを学童保育所に届けている。何かあれば学童の指導員と電話で密に連絡している。

【副実行委員長】実行委員会の報告について。

10月31日臨時実行委員会では、協議会設置について、生涯学習課、児童青少年課から説明を受け、各コーディネーターが推進委員会に持ち帰り、意見をまとめて実行委員会で報告することになった。11月14日実行委員会では、今年度の予算調整をした。協議会設置について各推進委員会でまとめた意見を報告した。12月20日実行委員会では、今年度の事業計画の執行予定を報告した。協議会について、生涯学習課から先行4校選定の報告を受けて、実行委員会として了承した。

(2) 全体の進捗状況について

【事務局】10月時点で予算進捗率が48%。前年度比3%減。最終的に前年度執行率去年の95%を数%下回る見込み。

(3) 協議会の進捗報告について

【内部委員】来年度の協議会は、生涯学習課で事務的なものを全て運営させていただく。11月に要綱改正予定となっているが、放課後子ども教室に丸投げをする意図はない。

【事務局】地域的なバランス、児童増加率、平成28年度放課後子ども教室開催回数、参加人数等を考え、先行4校として、第三小学校、東小学校、本町小学校、前原小学校を候補にした。その後、臨時実行委員会、校長会、学童主任会議、実行委員会、正副委員長、児童青少年課と調整し、東小学校・本町小学校・第三小学校・前原小学校の校長副校長先生の内諾を得られ、実行委員会でも了承を得ら

れた。運営員会でも承認を頂きたい。

【コーディネーター】後行5校は平成31年度から施行だが、主管はどこか。

【内部委員】先行4校と全く同じように、生涯学習課で事務的なものを全て運営させていただけと考えている。

【委員長】協議会で扱われる主な問題は何か。

【事務局】スケジュール調整や空教室の確保等。

【委員長】学童とは何を協議するのか。

【事務局】イベント参加への調整。放課後と学童への行き来の情報共有。往復時の安全管理。怪我対応の意思統一等。やってみないとわからない部分があるが、負担のかからない範囲で調整して頂きたい。

【外部委員】学童と放課後子ども教室の間に協力して学べ、遊べるプログラムを作り、後は空き教室の確保が主なものだと思うが、そこまでは協議会は至らないのか。

【内部委員】やってみないとわからないところもある。少しでも有効活用して、話し合いの場を持ち、充実させていきたい。

【外部委員】各学校の温度差があるのではないか。

【内部委員】温度差というより、地域差。学校の教室数の問題等を抱えながら協力いただいている。学校にもご理解いただいている

【外部委員】共通プログラムはどういうものか

【事務局】共通プログラムとは、放課後子ども教室関係者と学童保育関係者が内容や日程等共通認識を持ち、学童保育所に通う児童も放課後子ども教室に参加できるプログラムと定義した。今放課後子ども教室でやっているのは共通プログラムと言って差し支えない。

【委員長】児童青少年課としては、相乗効果をどのように考えるか。

【内部委員】今まで各学童と現場で調整していたが、それを協議会で日程等スケジュール調整をしていただくと、学童にとっても大きなメリットである。11月の9所全体の会議の中で、協議会を来年度立ち上げると全学童保育所に話し、全体で納得した。

【副委員長】先行四校の中で連携型、一体型はどこか。

【事務局】本町小が連携型。第三小、東小、前原小が一体型です。

【外部委員】平成30年度迄に、具体的な目標があったほうがやりやすいのではないか。

【内部委員】次回までに示したい。

【委員長】指導室に伺うが、学校の先生は忙しいと言われるが、新しい組織が持ち込まれると学校の体制はどうなるのか。

【内部委員】学校の働き方改革が大きな課題だが、相談しながら進めていければ、

そこで学校からの要望も聞いて進めていただければいい。

【委員長】先行4校発足の提案は了解ということによろしいですか。ありがとうございます。

(4) その他

【外部委員】推進委員に対して謝礼は出ないのか。

【内部委員】何度も要望頂いており、検討中。引き続き努力する。

【副委員長】来年度に向けての要綱準備について、どう考えているか。

【内部委員】皆さんからのご意見を反映したものを作っていきたい。

【外部委員】要綱と次年度予算について、事前に見せてほしい。

【内部委員】予算は2月時点では未定なので示せない。要綱は運営委員会の開催通知を送るときに添付する等、対応する。

【事務局】本日配布した、第4回運営委員会会議録の承認をいただければ、HPで公開する。また放課後子ども教室スケジュールを配布したので、運営委員に教室の見学に行っていただきたい。

【副委員長】予定表には、実行委員会預かり団体は何も書いていない。

【事務局】なるべく予定を聞くよう努力します。

【委員長】これで第5回運営委員会を終了します。